

# 道

2017・10・4

通信 No 1458

10月4日(水)3部 中山先生

- ・聖なる湖バイカル (歌集1-46P)
- ・一二人の盗賊(男)
- ・やなぎ(女)
- ・おおライ麦よ
- ・アムール河の波(ロシア語)



10月11日(水)1部 小坂先生

- ・広きドニエプルの嵐
- ・向こうの小川で
- ・雪白く
- ・小川の洗濯場で(2集2P)
- ・キエフの鳥の歌

「『キエフの鳥の歌』(木内宏治訳詞、中島章利伴奏編曲)はナイチンゲール(Nightingale)のこと」とす  
と前に書きました。中に「鶴」が出てきますが鳥たち全体のことを指し鳥たちの象徴として言われてお  
り、鳥たちの鳴き声が消えたという意味です。原題の詩はГуцало Євген Євген Пилип  
ович(1937-1955)作『また秋が来て Знову осінь』です。

また秋が 遠い南へとまた  
鳥たちはウクライナから飛び去っていく  
高く渦を巻いて はるかな旅路を行く  
夜鶯の歌が消えた 流れていた空から  
夜鶯の歌流れるウクライナは  
その歌もなしにどうやって暮らしていくのだろうか?

白鳥の歌が消えた 飛んでいた空から  
白鳥の歌流れるウクライナは  
白鳥の悲しい歌もなしにどうやって暮らしていくのだろうか?

鶴の歌が消えた  
鶴の郷ウクライナの鳥たちの歌から  
鶴の郷ウクライナは  
鶴の歌もなしにどうやって冬を越すのだろうか?

秋が…心の中でたそがれて行く  
風が止み、晩秋の庭も静まり返ったから  
まるで心も南へ飛び去り 戻ってこないかのようだ

夜鶯の歌が消えた 流れていた空から  
夜鶯の歌流れるウクライナは  
その歌もなしにどうやって暮らしていくのだろうか?

(中島章利訳)

《今後の会議予定》

10月18日(水) 4時～ チケット・チラシ・プログラム委員会

本日の片づけは  
ソプラノとバス